

# ThirdEye 機能仕様書

## 第 1.12 版

株式会社ロジックベイン

### 改訂履歴

版数	発行日	改訂履歴
第 1 版	2018 年 3 月 1 日	新規作成
第 1.1 版	2018 年 7 月 31 日	ThirdEye の内容を修正
第 1.2 版	2018 年 10 月 22 日	機能追加により修正
第 1.3 版	2019 年 4 月 3 日	機能追加により修正
第 1.4 版	2019 年 6 月 7 日	機能追加により修正
第 1.5 版	2019 年 7 月 1 日	機能追加により修正
第 1.6 版	2019 年 7 月 17 日	サイジングの修正
第 1.7 版	2020 年 1 月 9 日	機能追加により、機能およびサイジングの修正
第 1.8 版	2020 年 9 月 25 日	機能追加により修正
第 1.9 版	2020 年 10 月 20 日	機能追加により修正
第 1.10 版	2021 年 3 月 1 日	機能追加により修正
第 1.11 版	2022 年 8 月 17 日	機能追加により修正
第 1.12 版	2024 年 5 月 24 日	機能追加により修正

◆ このドキュメントについて

このドキュメントは ThirdEye に実装される機能やハードウェアの要件を記載しています。

◆ 機能表

機能		ThirdEye	SNMPc	
コンソール	接続方法	Web ブラウザ	専用コンソール	
	表示言語	日本語/英語	日本語	
ライセンス	ハードウェアとの紐付け	MAC アドレス	－	
	認証方法	オンライン, オフライン	－	
	評価版にライセンス適用することで、製品版に昇格	○	○	
基本性能	ICMP Ping のみ (単体)	○	○	
	ICMP Ping + Trap 監視 + 性能監視 (単体)	○	○	
	ICMP Ping のみ (ポーラ構成)	○	○	
	ICMP Ping + Trap 監視 + 性能監視 (ポーラ構成)	○	○	
コンフィグ管理	コンフィグバックアップ	○	×	
	スケジュールバックアップ	○	×	
	世代管理	○	×	
	コンフィグ比較	○	×	
	SSH 接続	○	○	
	Telnet 接続	○	○	
	SSH/Telnet 時の証跡管理	○	×	
	コンフィグの差分検知	○	×	
	MAC アドレス/ARP テーブルの収集	○	×	
監視方法 /対象	SNMPv1	○	○	
	SNMPv2	○	○	
	SNMPv3	○	○	
	ICMP Ping	○	○	
	SNMP Trap 受信	trap	○	○
		inform trap	○	○
	TCP Ping	○	○	
	HTTP/HTTPS 監視	○ <small>(監視対象デバイスの登録が必要)</small>	×	<small>(HTTPS は不可)</small>
	IPv4	○	○	
	IPv6	○	○	
	閾値監視		○	○
		回数/時間	○	×
		ベースライン自動学習/設定	×	○
	テキストログ監視		Agent-D	SNMP-L2
Windows イベントログ	文字列	Agent-D	SNMP-L2	
	レベル	Agent-D	×	

機能		ThirdEye	SNMPc	
	プロセス監視	Agent-D	SNMP-L2	
	Windows サービス	Agent-D	SNMP-L2	
	Syslog 監視	Agent-D	×	
デイスカバリ	デイスカバリ	ネットワーク	○	○
		アドレス範囲	○	×
		IP アドレス	○	×
		ワイルドカード	○	×
		フィルタリング	○	○
	スケジュール	○	○	
インベントリ 管理	IP アドレス	○	○	
	ホスト名	○	○	
	ベンダー	○	×	
	OS バージョン	○	×	
	モデル	○	×	
	シリアルナンバー	○	×	
	インタフェース情報	○	×	
	添付ファイル	○	×	
	グループ化	○	○	
	メモ	○	○	
マップ	階層マップ		○	○
	自動レイアウト	物理構成 (L2)	○	×
		論理構成 (L3)	×	○
	手動レイアウト		○	○
	ツリー表示		○	○
	拡大表示 / 縮小表示		○	○
	縮尺率をワンボタンでデフォルトに戻す		○	○
	別ウィンドウでのマップ画面表示		○	○
	マップ画面の複数枚同時表示		○	○
	検索	IP アドレス	○	○
		ホスト名	×	○
		インシデント (ログ)	○	○
	リンク自動結線		○	○
	リンク手動結線		○	○
	背景	画像挿入	○	○
		色変更	○	○
	監視対象装置の 1 台を複数のマップに配置		○	×
	マップとログを同時に表示		○	○
	コメントの挿入		○	○
	ダッシュボード	マップの追加		○
グラフの追加		○	×	
グラフの操作		スケールの変更	○	×

機能		ThirdEye	SNMPC	
	ズームイン/アウト	ズームイン/アウト	○	×
		スナップショット	○	×
		メール送信	○	×
	複数ダッシュボードの追加		○	×
	ユーザ毎の閲覧権限		○	×
ポーリング仕様	インターバル設定		○	○
	タイムアウト設定		○	○
	リトライ設定	ICMP Ping	○ (自動リトライ)	○
		SNMP	× (将来対応)	○
	非監視設定	手動	○	○
スケジュール		○	×	
非監視時の Trap 監視停止		○	×	
通知	メッセージのカスタマイズ		○	○
	メッセージの色		×	○
	メール送信		○	○
	スクリプト実行		○※1	○
	スクリプト実行 (複数)		○※1	○
	外部スクリプトへ監視対象情報を引数での引き渡し		○	○
	サウンド再生		× (将来対応)	○
	ポップアップ表示		×	○
	ビーブ音		×	○
	トラップ転送		○	○
	イベント発生機器ごとに表示方法を変える		○	○
	同じ通知イベントが短期間に大量発生した際、1 通のメールで通知を集約		○	×
	イベントログとは別のメッセージ内容のメール通知		×	×
	通知用メールサーバの複数指定		×	×
	SSL 対応		○	○
	レポート	エクスポート	1 時間毎	日付範囲選択可
1 日毎			○	
1 週間毎			○	
1 ヶ月毎			○	
1 年毎			×	
エクスポート形式		xlsx 形式	txt 形式	
グラフ		種類	3 種類	4 種類
	閾値表示	× (将来対応)	×	
インシデント (ログ)	現在		○	○
	過去		○	○
	承認		○	○
	自動承認/クリア		○	○

機能		ThirdEye	SNMPc
	検索	文字列 <small>(カスタムフィールド対応)</small>	×
		日付	×
		重大度	○
	エクスポート形式	CSV <small>(インシデント詳細の違反ログのみ)</small>	CSV
	大量時の抑制	○	×
	メモ機能	× <small>(将来対応)</small>	×
	ステータス編集	○	×
	ログからのメール送信	×	×
	ログメッセージ内の変数表示	○	○
	ログから該当する監視対象機器アイコンへのマップ移動	○	○
	監査ログ	○	×
MIB	MIB ツリー		○
	検索	OID	○
		文字列	×
	カスタム MIB テーブル		○
	get した MIB 値を計算してテーブル、グラフ表示		○
	コンパイル		○
コンパイル失敗時のエラー通知		○	
ユーザ管理	ユーザ作成		○
	権限		○
	権限の編集		×
	マップの閲覧制限		×
	自動ログアウト		○
	パスワードポリシーの設定		× <small>(外部認証対応)</small>
	外部認証サーバとの連携		ActiveDirectory, RADIUS
ソフトウェアによる冗長化	Active-Standby 構成による自動切り替わり		×※3
	Active-Standby 両サーバ間のシステム自動同期		×※3
	Master 稼働時の Slave 側の Trap 受信停止		×※3
Manager-of-Managers		×	○
バックアップ / 復元	自動ルーチンでのバックアップ取得		○
	ローカル外への保存		○
	システムバックアップの復元 <small>(同一筐体、別筐体のいずれも対応可)</small>		○
	システムバックアップの取得中に監視動作が停止しない		○
その他	右クリックメニューのカスタマイズ		URL
	フロントパネルの表示		×
	データ保存	データ (レポート)	最長 1 年 <small>(default : 3 カ月)</small>
インシデント		期限なし	4GB

機能		ThirdEye	SNMPC
	違反イベント	選択可 (期限なし/1年/6か月 /3か月/2週間)	-
	SNMPトラップビュー	選択可 (期限なし/1年/6か月 /3か月/2週間)	-
	API連携	○	×
	SNMPC 設定情報の移行	○(一部)	-

※1 コンフィグバックアップが可能な機器については、以下を参照してください。

[https://www.lvi.co.jp/NetLD\\_performance/supporteddevices.php](https://www.lvi.co.jp/NetLD_performance/supporteddevices.php)

※2 外部プログラム実行をする為には、別のマシンが必要です。別マシンの環境は物理/仮想を問いません。

例えば、Windows Hyper-VにThirdEyeをインストールし、物理 Windows 上のスクリプトを実行できます。(SSH 設定が必要)

※3 VMWare HA など仮想サーバによる冗長化は対応しております。

#### ◆ サーバサイジング

	5000 metrics (0~1000 デバイス)	10000 metrics (~1000-2500 デバイス)	20000 metrics (~2500-5000 デバイス)
CPU コア数	4	6	8
メモリ	8GB	12GB	16GB
ストレージ	300-500GB *1	750-1000GB *1	1500-2000GB*2

\*1 SSD 推奨

\*2 SSD 必須

#### ◆ 提供方法

仮想アプライアンス

- ・VMware ESXi
- ・Windows Hyper-V
- ・Amazon Web Services
- ・Nutanix AHV
- ・Linux KVM
- ・Microsoft Azure